

連携室だより

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2023.2

vol.202

## 令和4年度 緩和ケア研修会

令和5年1月7日(土)に、鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校において、鹿児島医療センター緩和ケア研修会を開催致しました。

今年も外部からの研修生を含め、医師及び歯科医師13名、多職種(看護師、医療ソーシャルワーカー)6名が参加されました。現在、緩和ケア研修会は e-learning と集合研修の2つから成り立っていますが、参加者全ての e-learning 修了の元、1日間の集合研修が行われる形となっています。

開催日当日、朝は冷え込むものの天候に恵まれたこともあり、日中は例年より暖かく、過ごしやすい中で研修会を行うことができました。今年よりコミュニケーションのセッションは、例年お願いしている今村総合病院精神科の小玉哲史先生と、当院精神科の安庭先生に講師をお願いしました。当院からは医師6名、看護師7名、薬剤師1名、医療ソーシャルワーカー1名の御協力を頂き、円滑に進行することができました。内容は e-learning の振り返りに始まり、コミュニケーションに関するロールプレイ、グループワークでは症例を通してがん疼痛の事例検討、さらにその後の療養場所の選択と地域連携の検討など、受講生の皆さんにとっては充実した内容であったと思います。本来であれば双方向性講義とするための小グループでの討論を設けるのですが、コロナ感染症の関係で省略せざるを得ない状況が続いていることが残念に思われます。

当研修会では、講義中は密を避ける配置を心掛け、換気やマスクの徹底を行い、受講生を含めすべての参加者は常時シールド付きマスクを装着することとしました。マスクは声が聞こえにくい問題もありますが、感染のリスクを考えると仕方がない面があります。そんな中、受講生の皆さんは一生懸命にロールプレイやワークに取り組まれていました。

この研修会を通じて、参加者、協力者ともに多くの学びを得て頂いたこと、緩和ケア、がん診療に関わる多職種の方々の交流が図れたことは、大きな収穫であったと思います。

御協力頂いた全ての皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。研修会は今後もさらに内容を充実させ開催して参りますので、皆様の御参加、御協力を宜しくお願いいたします。

(文責：研修会企画責任者 原口 浩一)



# 「愛祈祭」を終えて

今年の愛祈祭のテーマは「SHINE 最高の未来を 人へ未来へ繋げよう」でした。

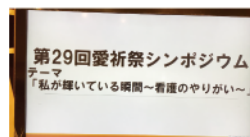
新型コロナウイルス感染症が流行し3年が経過した今も、感染症対策をとりながらの学校生活を送っています。そのような中、友達や家族、いろいろな人に笑顔を届けたいという理由でこのテーマにしました。

来年度は今の2年生が一学年となるため、今年は最後の愛祈祭でした。

そこで、臨床の現場で働いている本校の卒業生である看護師の方々を招き、今年初挑戦となるシンポジウムを企画しました。働きがいや看護観などシンポジストの方々と意見交換することができ、たくさんの刺激を受けるよい機会となりました。個人発表では昨年と違い、保証人を含めた学生全員で同じ場所から舞台を見ることができ、より一層愛祈祭をみんなで楽しむことができたと思います。また準備から愛祈祭当日、片付けまで2、3年生で協力して行うことができ、絆も深まったように感じました。今回の愛祈祭で得た経験を今後の学生生活に活かしていきたいです。

(文責：第29回愛祈祭 実行委員長)

## 学習部門 シンポジウム



シンポジストの方々の講話を通して、自己の看護観を広げること、理想の看護師像を思い描いてもらえるように…

## 健康部門



健康チェック  
皆が健康であり続けることで、笑顔を繋げられるように…



テイクアウトコーナー（菓子）  
商品を作る人の思い、販売する人、受け取る人、食べる人の笑顔が広がること、就労支援につなげたい

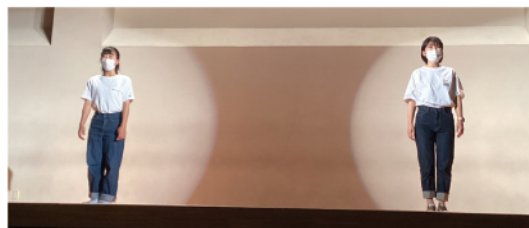


テイクアウトコーナー（惣菜）  
テイクアウトの惣菜、お弁当販売を通して地域支援につなげ、みんなを笑顔に！

文化部門



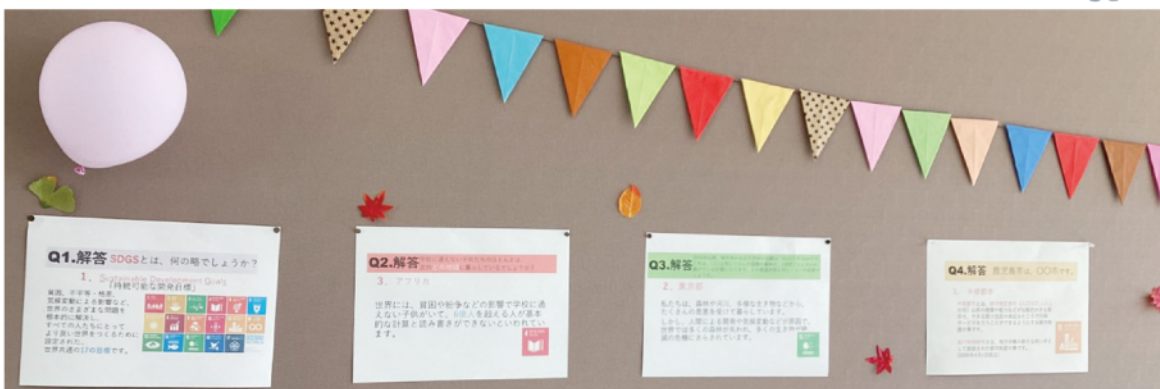
合唱  
声のハーモニーに乗せて参加している人々を笑顔にし、これからの未来に向けて明るい笑顔をつなげていきたい



個人発表  
人々の笑顔が輝き、未来へ向けて前にすすむ原動力となりますように…



展示  
全学生の想いや願いが込められた展示作品を見てもらい笑顔をつなげたい



レクリエーション  
SDGsや環境に関するクイズに答えることで、自分たちが身近に行えるような取り組みに目を向ける機会にしたい

# 診療科紹介

## — 眼科 —



田代 葵子

鹿児島医療センターに眼科が新設され、6年目となりました。

眼科は外来のみの診療体制で、医師、看護師、視能訓練士各1名での運営を続けております。

白内障や緑内障をはじめ、当院での他科との連携においては、糖尿病網膜症、頭蓋内病変に伴う眼球運動・視野障害、甲状腺眼症、薬剤の副作用による眼合併症、腫瘍に随伴した視神経疾患・ブドウ膜炎、抗がん剤治療やそのほか入院中に併発したドライアイ・結膜炎などの前眼部疾患について主に併診させて頂いております。

また、眼処置としては主に後発白内障、閉塞隅角症、糖尿病網膜症に対するレーザー治療、そのほか涙道通水検査、睫毛抜去、角結膜異物除去等を行っております。

眼科は患者様のQOLに直結する分野であり、患者様の一つ一つの訴えに耳を傾けながら、少しでも役立てるようにと邁進する日々です。

また、目は糖尿病や高血圧症など、生活習慣病との関わりも深く、身体状況をよく反映する器官です。眼底からの所見や視野検査が診断の一助となれば幸いです。

まだまだ検査や診療体制が十分でなく、大学病院を始め、各連携病院と協力しながらにはなりますが、精一杯努めさせていただきますのでどうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。

(文責：眼科 田代 葵子)

新任  
紹介



婦人科

徳留 明夫

1月より婦人科に赴任致しました。鹿児島生まれ、鹿児島大学出身です。前任地は鹿児島大学病院でした。鹿児島医療センターでの勤務は初期研修医の頃からも含めて4回目になります。前回の勤務から約7年が経ちますが、たくさんの方からの暖かいお声掛けと励ましのお言葉に、胸が熱くなりました。ここ鹿児島医療センターで育てて頂いた御恩を、少しずつでも返していけるよう、日々精進したいと思っております。みなさま、どうぞよろしくお願い致します。

■お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>

メディカルサポートセンター

地域連携室専用FAX▶099(223)1177

※休日・時間外は当直者で対応します。

